

# ねんじゆ お念珠

## お念珠のはじまり

今から約2500年前におしゃかさまが仏教のみ教えを説かれた時代に、お念珠の起源があります。インドに難陀国なんだこくという小さな国がありました。波瑠璃はるりという王様の時代に国が乱れ、病気が流行り、人々は大変苦しい生活をしていました。やさしい王様は何とかしたいと悩み苦しみ考えたすえ、おしゃかさまに相談されました。おしゃかさまは、王様にそれでは、木の実に穴をあけて、糸を通しなさい。それをいつも身に付けて、悩ましく乱れるところを静めて、一心に「南無仏」「南無法」「南無僧」を称えなさい、と教えられました。これがお念珠のはじまりと伝えられています。

## らいはい 礼拝とお念珠

お寺やお家のお内仏にお参りするときは、お念珠の輪に両手を通して合掌がっしょうします。み仏さまにご挨拶するとき、こころ静かにみ仏さまのお名前「南無阿弥陀仏なむあみだぶつ」とお呼びしてご挨拶しましょう。

このことは、食事の前に手洗いをして清潔にして、「食前の言葉」を唱和して食事をはじめるのに似ていますね。

出典 幡谷淳信「一月教案」礼拝 『児童と宗教』3巻1号より、一部抜粋、現代語訳  
リライト “サガエさん” こと佐賀枝夏文